第６回舟着地域協議会　会議録		公　開　・　~~非公開~~	
日時	令和８年９月１１日（金） 午後７時００分～午後８時１３分	場所	鳥原児童館１階 会議室
出席者	（委員） 荒川浩幸、河口利幸、加藤春夫、長谷川高弘、古田忍、中根康智、山本平、原達也、樋口義治、鈴木仁、森勝哉、櫻井利昭、池田嘉子、清水幸代		
	（事務局）服部所長、菅野参事、宮本副参事、後藤主任		
欠席者	３人 （山下健次、柿田文恵、飛安章智）	傍聴者	２人
議題・議事・発言等	１　開会 ２　報告 （１）令和８年度地域自治区予算事業における実施内容の検討状況 ３　議事 （１）令和９年度地域自治区予算事業計画（案）策定 （２）令和９年度地域自治区予算計画（案）に対する意見募集期間の変更 ４　その他 （１）市長との意見交換会 （２）次回の舟着地域協議会 ５　閉会		

１　開会

（会長）

半数以上の委員が出席しているため、新城市地域自治区条例第８条第３項の規定を満たしており、会議が成立していることを報告した。

今回の会議録署名人は鈴木仁委員と森勝哉委員となることを報告した。

２　報告

（１）令和８年度地域自治区予算事業における実施内容の検討状況

今年度事業実施状況について、各グループから発表をした。

- 舟着茶話会事業
  来年１月３１日（日）に決定。会場の第１候補としてクリーンセンターを想定。（第２：塩沢構造改善センター、第３：舟着小学校）
- 舟着の魅力発見事業
  進捗なし
- ネットワークづくり事業
  進捗なし

- **３　議事**

（１）令和９年度地域自治区予算事業計画（案）策定

前回協議会（第５回）で決まった３点の内容確認をした。

- 「滑り台設置のパターン」と、「行政区ＤＸ実証実験事業と茶話会にコンサルティングに入ってもらうパターン」のどちらにするか比較検討し、滑り台設置のパターンとなった。
- 予算の都合上、資料１Ｎｏ５の「読み聞かせ本」と資料１Ｎｏ８の「ネットワークづくり事業」の両方が例年通りの金額では実施ができない。
- 資料１Ｎｏ３の「舟着の魅力発見事業」と資料１Ｎｏ８の「ネットワークづくり事業」は、今まで地域自治区予算で計上されてきたが、地域活動交付金の性質が高く、協議の結果、「ネットワークづくり事業」の料理教室は地域活動交付金が好ましい。「舟着の魅力発見事業」はもう少し慎重に見極める。

第６回地域協議会の協議の結果、資料１Ｎｏ５の「読み聞かせ本」を半減。資料１Ｎｏ８の「ネットワークづくり事業」の舟着こども園交流会の予算を地域自治区予算として計上。「ネットワークづくり事業」の料理を通したネットワークづくりと、「舟着の魅力発見事業」は地域活動交付金を利用できるように、事務局がフォローしながら地域団体で進めていくように促すことになった。

地域団体設立の付随する内容として、団体の構成人数を５人から３人に減らす内容も合わせて協議した結果、交付金申請時のハードルは下がるが、活動を末永く維持していくときには、５人の方が良いという意見があり、今までと同様に５人とした。

（２）令和９年度地域自治区予算計画（案）に対する意見募集期間の変更

当初の期間である「９月１６日㈬～１０月１５日㈭」から「９月１６日㈬～１０月９日㈮」に変更した。

４　その他

（１）市長との意見交換会

１１月９日に行うことを説明し、１０月２３日の第７回地域協議会において、提出された質問の集約・分類および方向性の検討を行うこととなった。

（２）次回の舟着地域協議会

会長から第７回舟着地域協議会は、１０月２３日（金）午後７時００分から鳥原児童館で開催することを報告した。

５　閉会

会長から第６回舟着地域協議会の中で全体を通して意見や質問がないか確認した。